

平成27年度
家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン
等の利用等に関する調査報告書
(概要版)

平成28年3月
東京都青少年・治安対策本部

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 調査概要 | |
| ■ 調査の目的 | 2 |
| ■ 調査対象者 | 2 |
| ■ 調査方法 | 2 |
| 2. 携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について | |
| ■ 携帯電話・スマートフォンのタイプ | 3 |
| ■ スマートフォンを持たせた時期 | 3 |
| ■ 携帯電話を持たせた理由 | 4 |
| ■ スマートフォンを持たせた理由 | 4 |
| ■ 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間 | 5 |
| ■ 勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったこと | 5 |
| 3. 家庭におけるルール作りについて | |
| ■ 家庭内でのルール | 6 |
| ■ どのようなルールか | 6 |
| ■ ルールを守れなかった時のルール | 7 |
| ■ ルールが守られていない理由 | 7 |
| ■ ルールを作っていない理由 | 8 |
| 4. 友達の間でのルールについて | |
| ■ 友達の間でのルール | 9 |
| ■ 友達の間でのルールの必要性 | 9 |
| 5. フィルタリングサービスについて | |
| ■ フィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付 | 10 |
| ■ フィルタリングサービスへの加入 | 11 |
| ■ フィルタリングサービスに加入していない理由 | 12 |
| ■ フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期 | 12 |
| 6. 保護者の携帯電話・スマートフォン等に関する意識について | |
| ■ 安心できる機能 | 13 |
| ■ 保護者として必要な課題 | 13 |
| ■ 東京都や学校で必要な対策 | 14 |
| 7. 保護者の方の携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について | |
| ■ 携帯電話・スマートフォンのタイプ | 15 |
| ■ 保護者の携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間 | 15 |

1 調査概要

■ 調査の目的

小・中学生及び高校生の子供に携帯電話等（スマートフォンを含めた携帯電話・PHSをいう）を持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等のフィルタリングへの加入状況や意識等を調査し、フィルタリングの重要性と必要性の啓発及び青少年健全育成条例における保護者の責務の更なる周知・徹底を図るとともに、今後の施策の参考とする。

■ 調査対象者

都内在住で、小学生（4～6年生をいう。以下、同じ。）、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者 1,500 名

【子供の属性】

| | 小学校 4年生 | 小学校 5年生 | 小学校 6年生 | 中学校 1年生 | 中学校 2年生 | 中学校 3年生 | 高校 1年生 | 高校 2年生 | 高校 3年生 | 合計 |
|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 男子 | 79 | 94 | 77 | 77 | 80 | 93 | 64 | 87 | 99 | 750 |
| 女子 | 74 | 81 | 95 | 76 | 75 | 99 | 85 | 78 | 87 | 750 |
| 合計 | 153 | 175 | 172 | 153 | 155 | 192 | 149 | 165 | 186 | 1,500 |

■ 調査方法

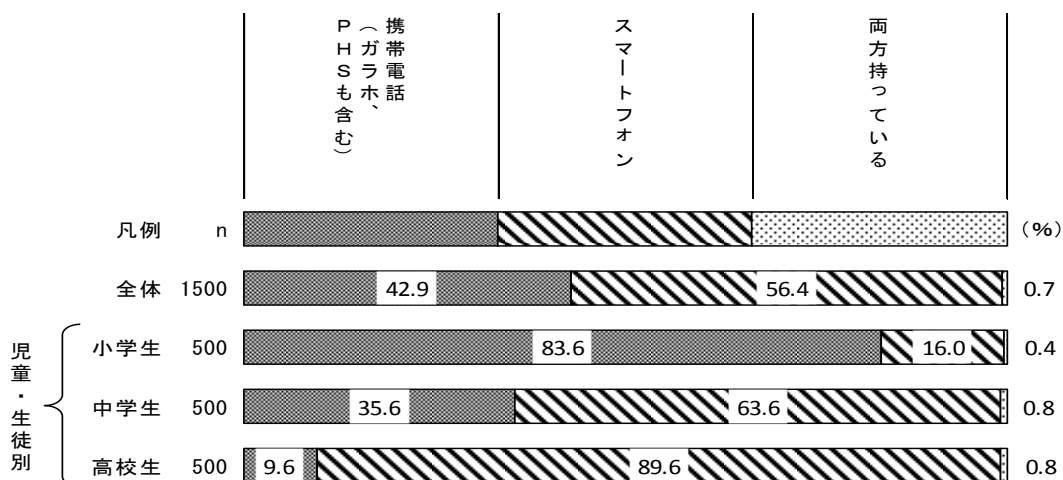
- 1 調査期間：平成27年11月19日（木）から同年11月27日（金）まで
 - 2 調査方法：インターネットパネルを使用してのネット調査アンケート
- ※ 調査会社提携先の登録会員に対して、Web画面上のアンケートリサーチを実施。

2 携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について

《携帯電話・スマートフォンのタイプ》

- 全体では、「スマートフォン」が56.4%と半数以上を占める。
- 児童・生徒別に見ると、「スマートフォン」は小学生で16.0%、中学生で63.6%、高校生で89.6%と、学年が上がるにつれ割合が大きくなっている。

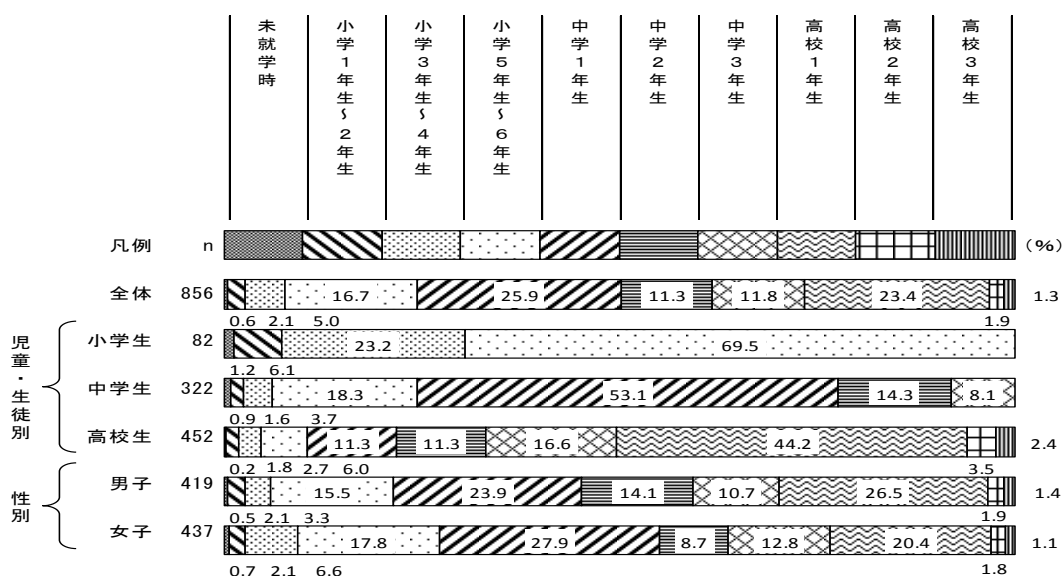
お子さんが現在利用している携帯電話・スマートフォンのタイプを教えてください。
(1つに回答)



《スマートフォンを持たせた時期》

- 「中学1年生」が25.9%と最も多く、「高校1年生」が23.4%と続く。
- 「中学1年生」から「高校3年生」までに持たせた割合は75.6%である。

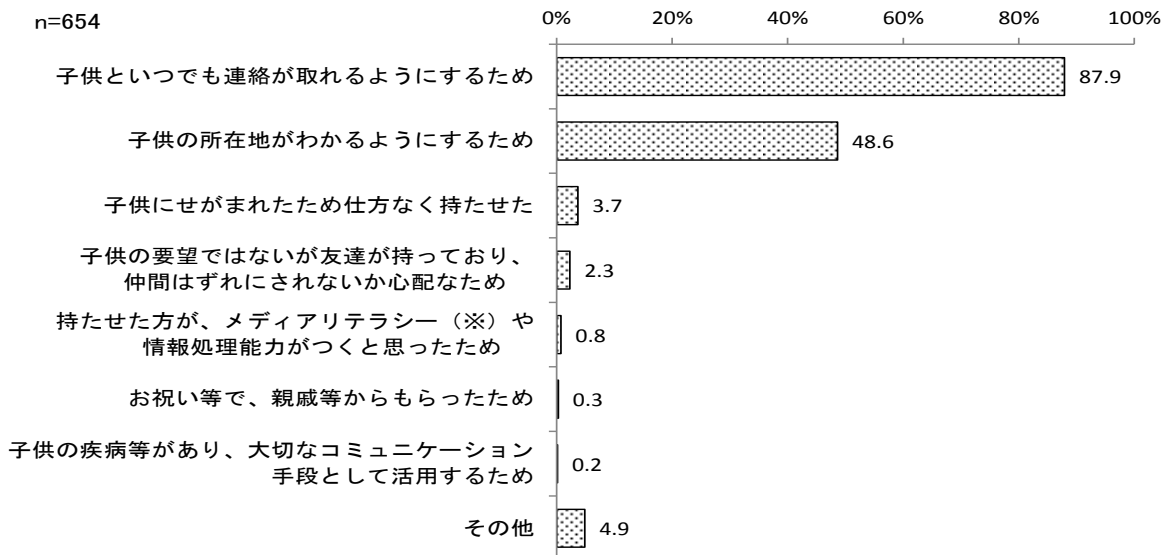
お子さんにスマートフォンを持たせた時期はいつですか。(1つに回答)



《携帯電話を持たせた理由》

- 「子供といつでも連絡が取れるようにするため」が87.9%と最も多く、次いで「子供の所在地がわかるようにするため」が48.6%となっている。

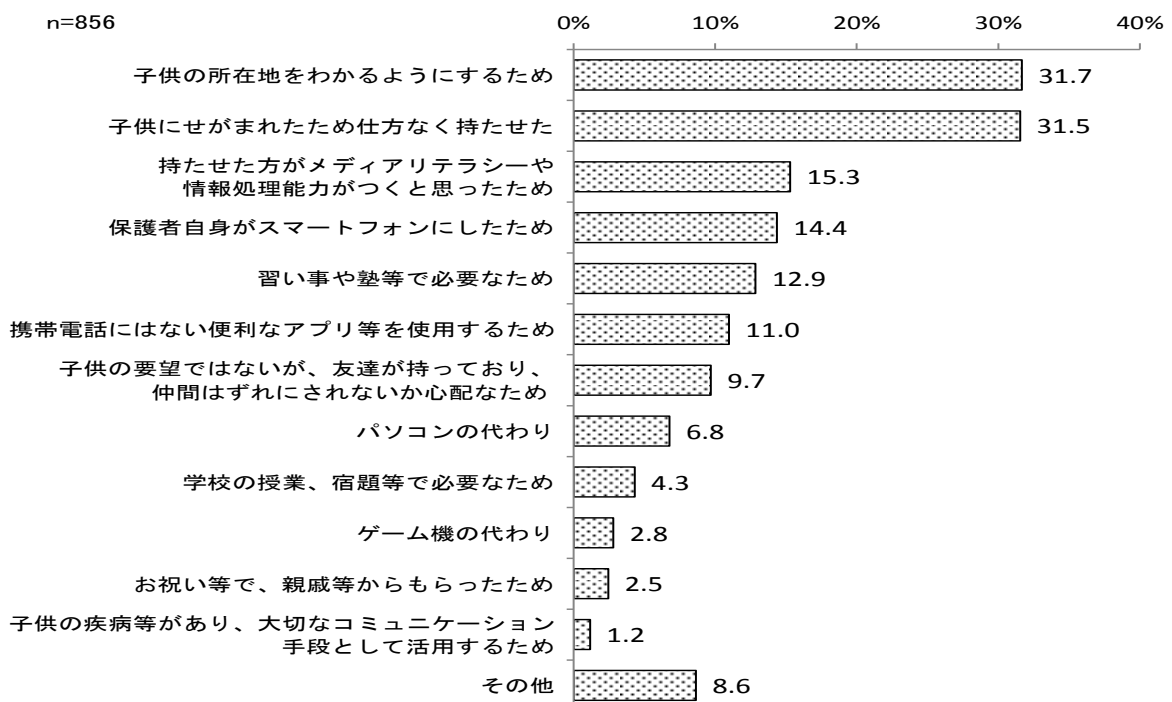
お子さんに携帯電話を持たせた理由（きっかけ）は何ですか。（いくつでも）



《スマートフォンを持たせた理由》

- 「子供の所在地がわかるようにするため」が31.7%、「子供にせがまれたため仕方なく持たせた」が31.5%と、多くなっている。

お子さんにスマートフォンを持たせた理由（きっかけ）は何ですか。（いくつでも）

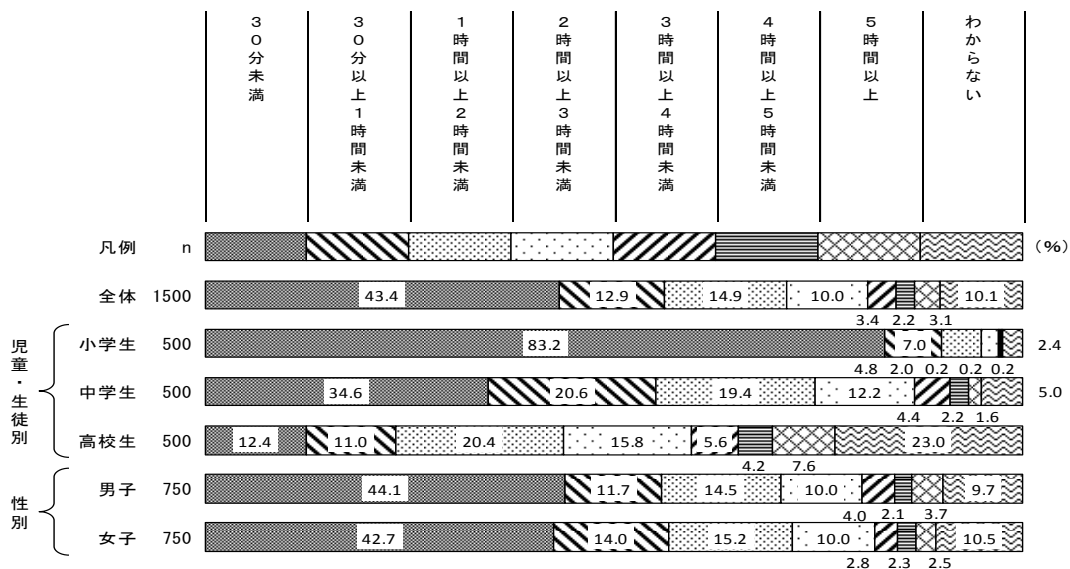


《携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間》

■ 児童・生徒別で見ると、『1時間未満』は小学生で90.2%と最も多く、中学生が55.2%、高校生が23.4%となっている。

お父さんは、携帯電話・スマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。
(1つに回答)

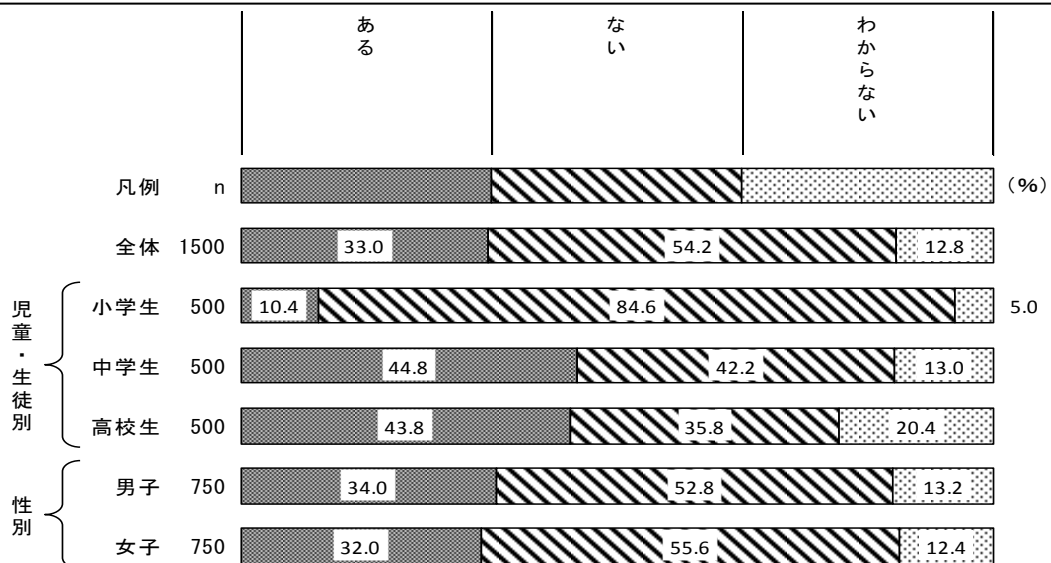
※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。



《勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったこと》

■ 児童・生徒別で見ると、「ある」は小学生で10.4%、中学生が44.8%、高校生が43.8%と、おおむね年齢が上がるにしたがって増える傾向がみられる。

お父さんが、携帯電話・スマートフォンにのめり込んで、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったことがありますか。(1つに回答)

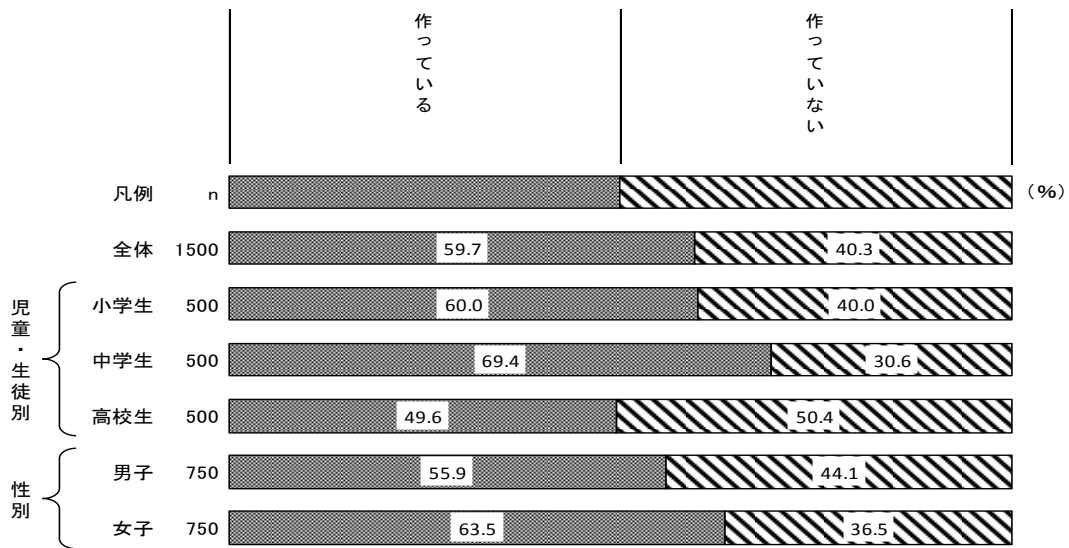


3 家庭におけるルール作りについて

《家庭内でのルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」は中学生が69.4%と最も多くなっている。一方で、「作っていない」は高校生が50.4%と最も多くなっている。

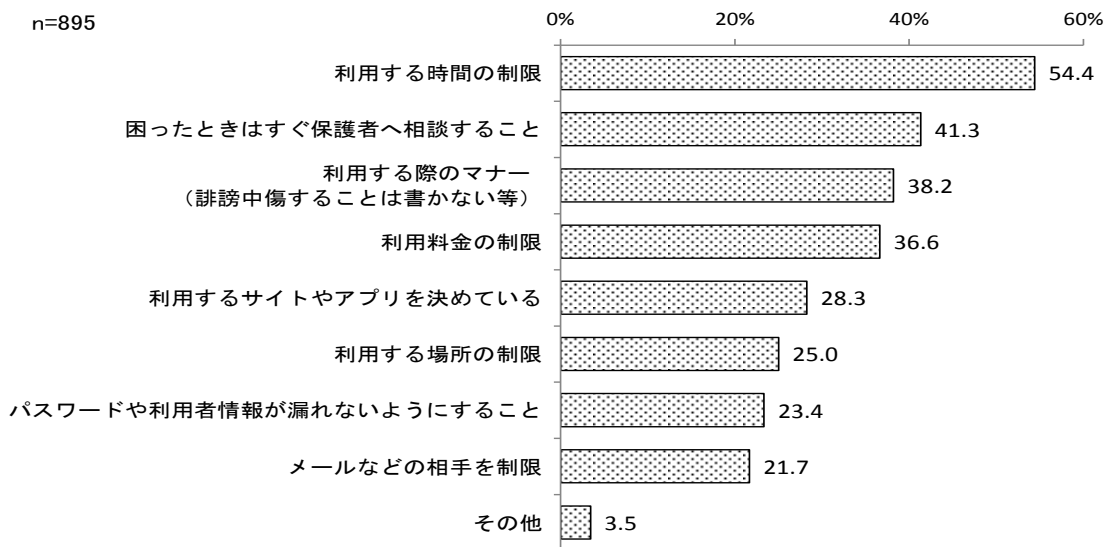
お子さんが携帯電話・スマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。(1つに回答)



《どのようなルールか》

- 「利用する時間の制限」が54.4%と最も多く、次いで「困ったときはすぐ保護者へ相談すること」が41.3%、「利用する際のマナー」が38.2%と続く。

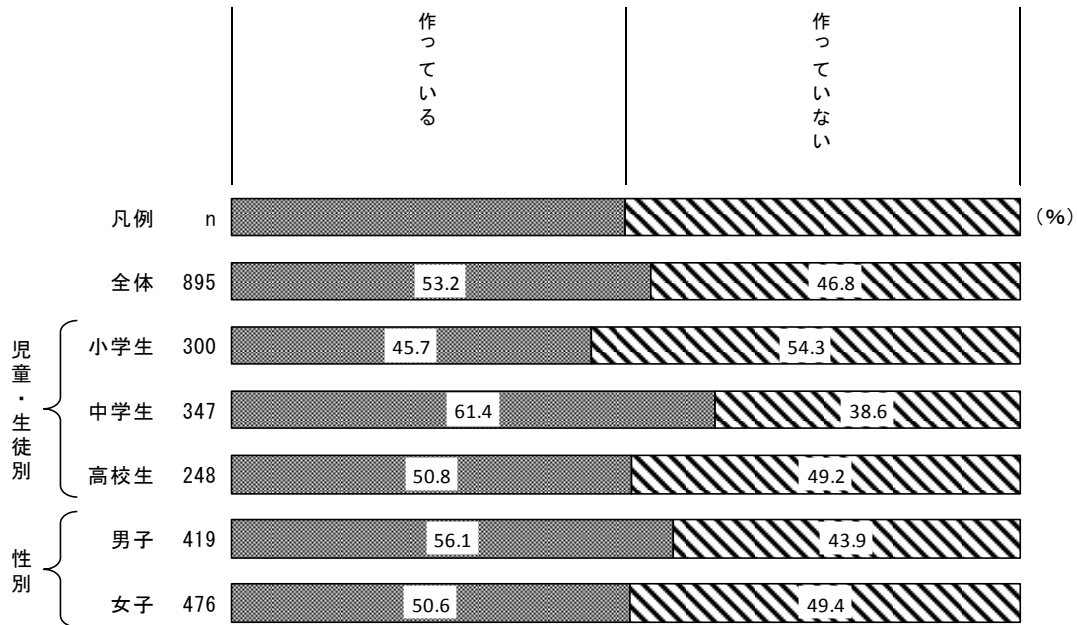
家庭内でどのようなルールを作っていますか。(いくつでも)



《ルールを守れなかった時のルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」が中学生が61.4%となっており、高校生が50.8%、小学生が45.7%であるのに比べ多くなっている。

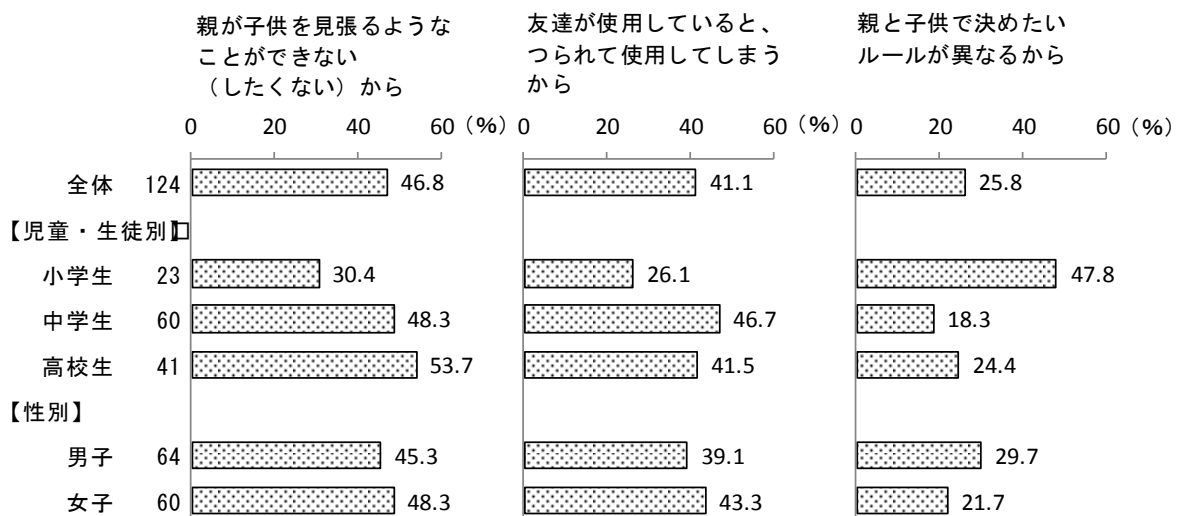
お子さんがルールを守れなかった場合のルールを作っていますか。(1つに回答)



《ルールが守られていない理由》

- 「親が子供を見張ることができない(したくない)から」が46.8%と最も多く、次いで「友達が使用していると、つられて使用してしまうから」が41.1%、「親と子供で決めたいルールが異なるから」が25.8%と続く。

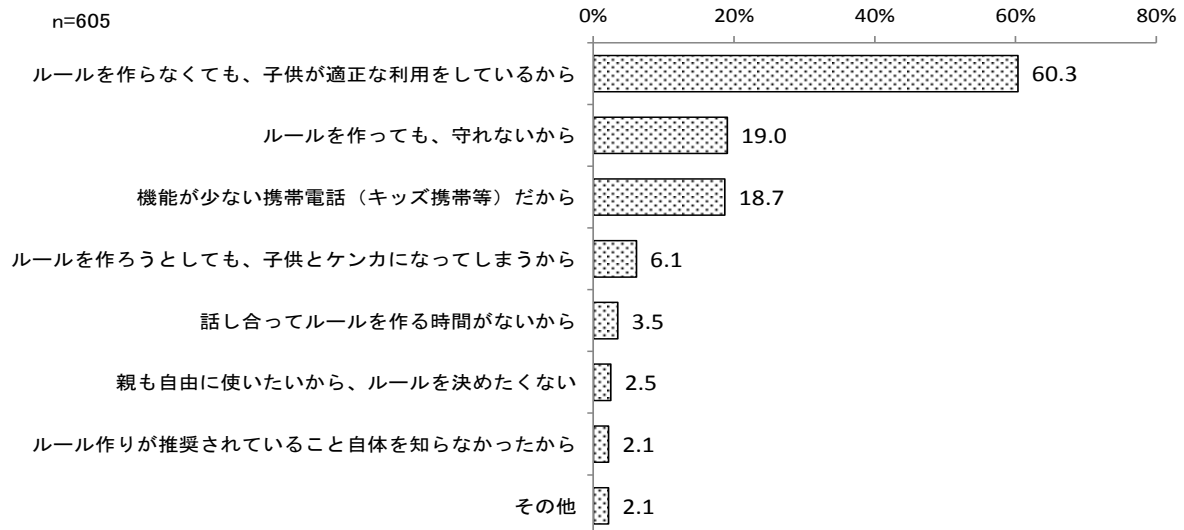
ルールが守られていない主な理由は何だと思いますか。(いくつでも)



《ルールを作っていない理由》

- 「ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから」が60.3%と最も多く、次いで「ルールを作っても、守れないから」が19.0%、「機能が少ない携帯電話（キッズ携帯等）だから」が18.7%となっている。

お子さん自身が、友達の間でルールを作っていますか。（1つに回答）

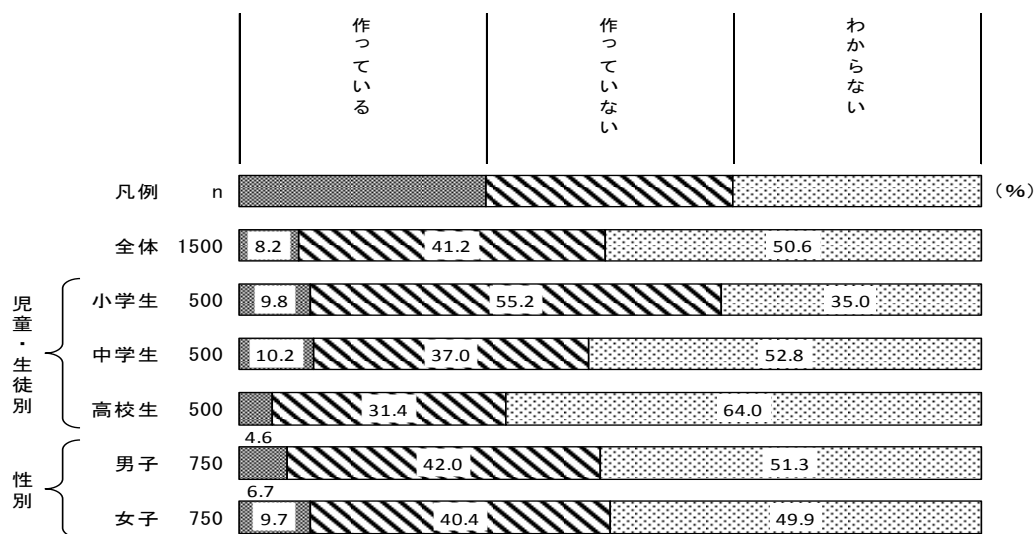


4 友達の間でのルールについて

《友達の間でのルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っていない」は小学生が 55.2%、中学生が 37.0%、高校生が 31.4%と、おおむね年齢が上がるにしたがって低くなる傾向がみられる。
- また「わからない」は、小学生が 35.0%、中学生が 52.8%、高校生が 64.0%と、年齢が上がるにしたがって保護者の把握が難しくなる傾向がみられる。

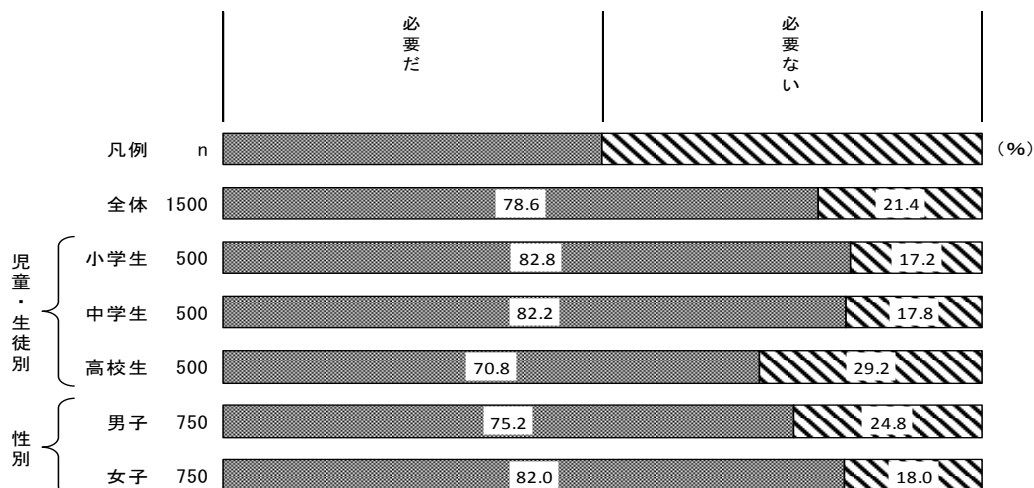
お子さん自身が、友達の間でルールを作っていますか。(1つに回答)



《友達の間でのルールの必要性》

- 「必要だ」が 78.6%と、「必要ない」の 21.4%を大きく上回っている。
- 児童・生徒別で見ると、「必要だ」は小学生が 82.8%、中学生が 82.2%、高校生が 70.8%と年齢が上がるにしたがって減る傾向がみられる。

友達の間で作るルールは必要だと思いますか。(一つに回答)

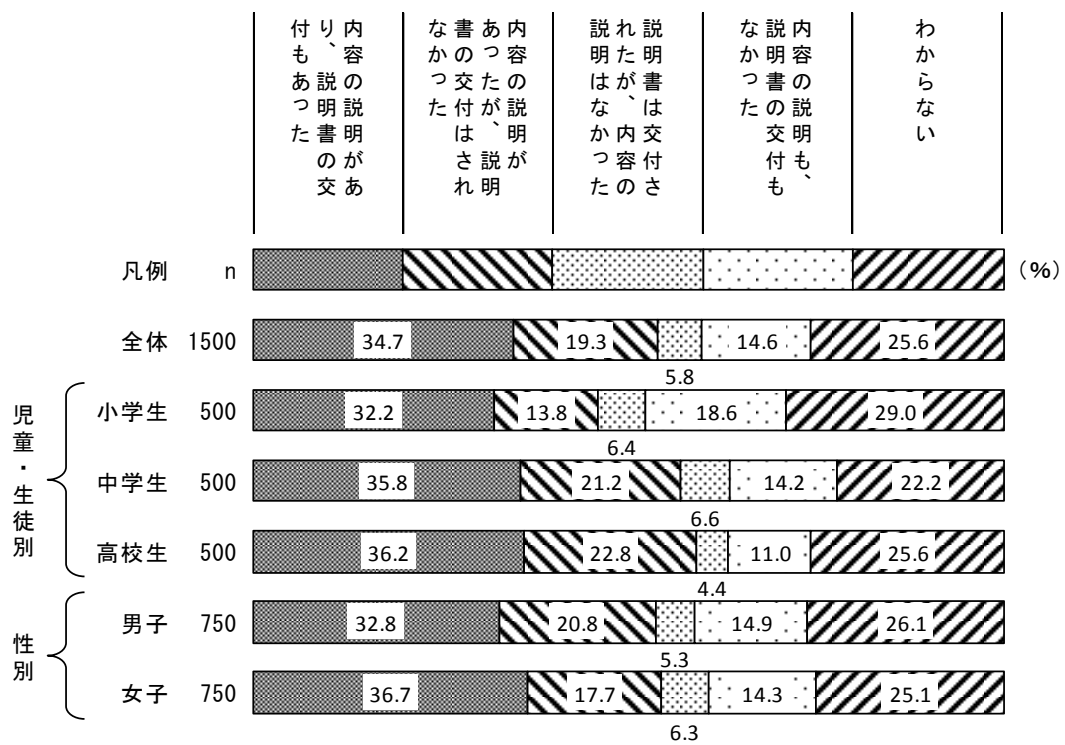


5 フィルタリングサービスについて

《フィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付》

- 「内容の説明があり、説明書の交付もあった」が34.7%と最も多くなっており、次いで「わからない」が25.6%、「内容の説明があつたが、説明書の交付はされなかつた」が19.3%となっている。

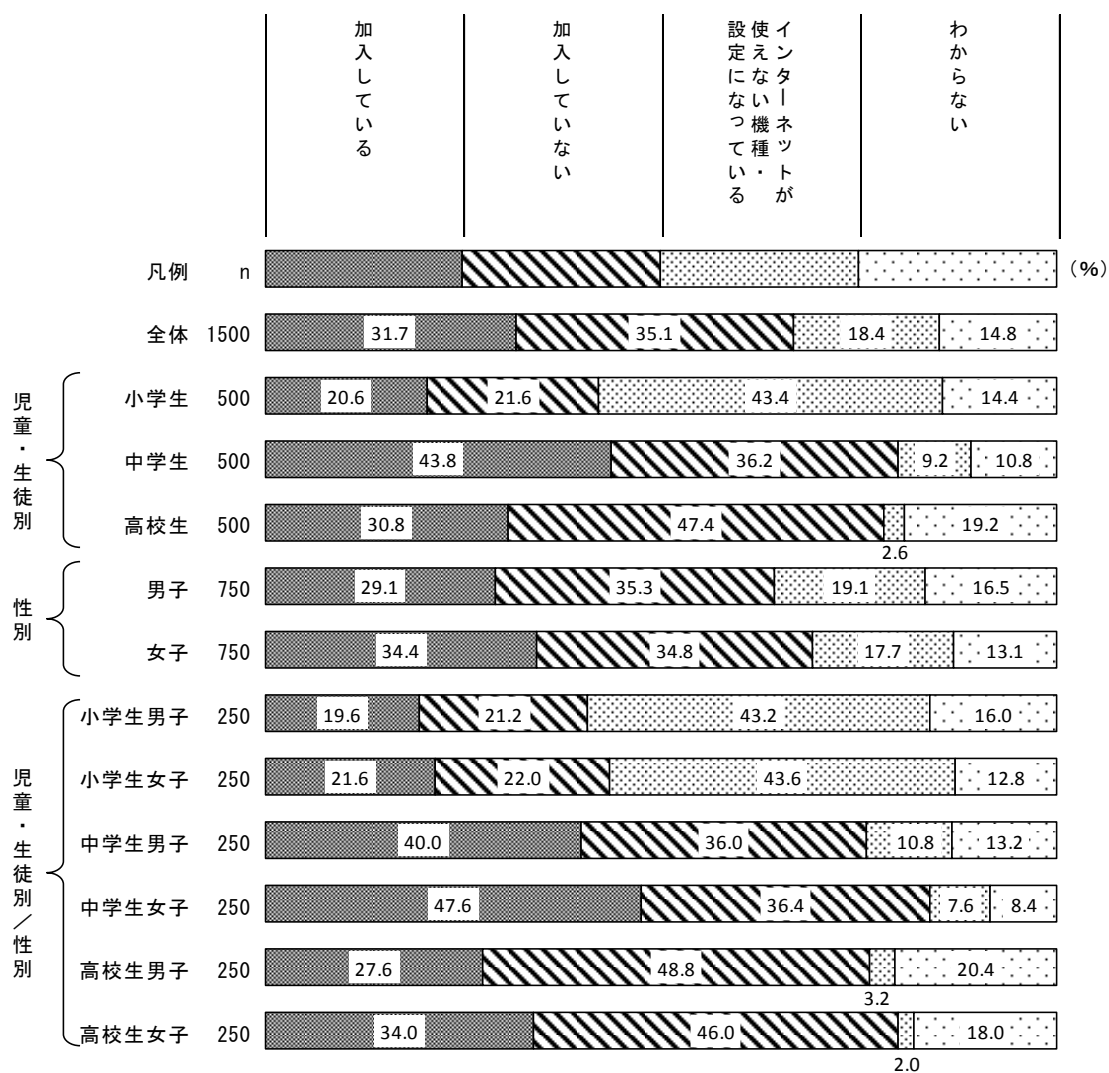
お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンの契約・購入の際、お店からフィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付を受けましたか。(1つに回答)



《フィルタリングサービスへの加入》

- 児童・生徒別にみると、「加入していない」は小学生21.6%、中学生36.2%、高校生47.4%と年齢が上がるにしたがって「加入していない」傾向がみられる。

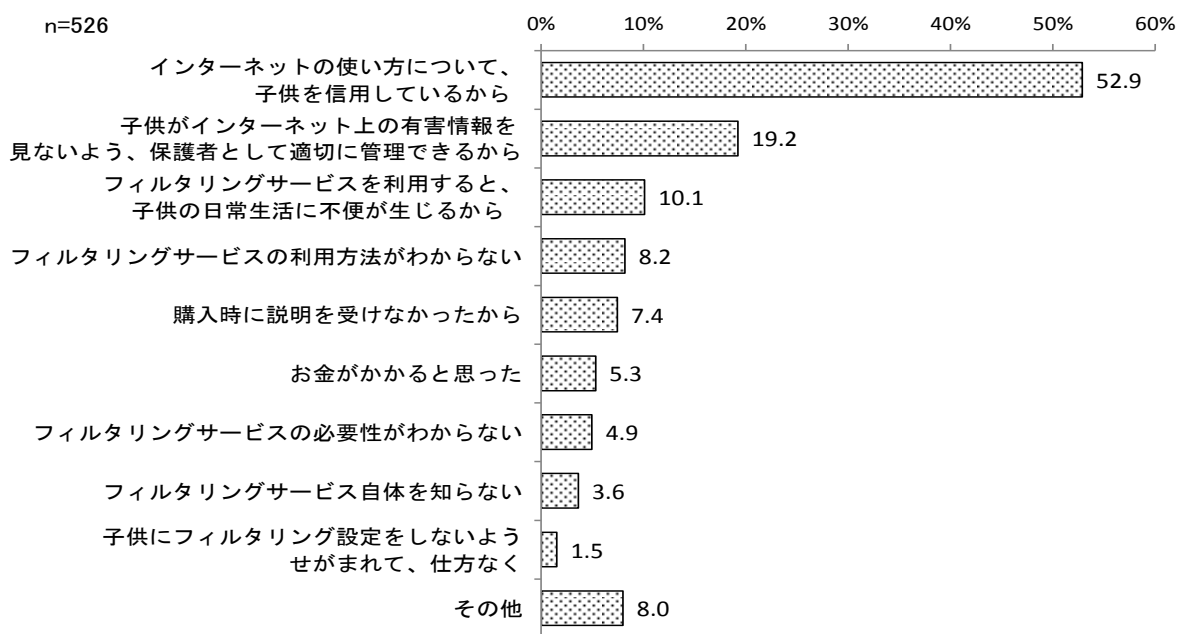
お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンは、現在フィルタリングサービスに加入していますか。(1つに回答)



《フィルタリングサービスに加入していない理由》

- 「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」が52.9%と最も多い。

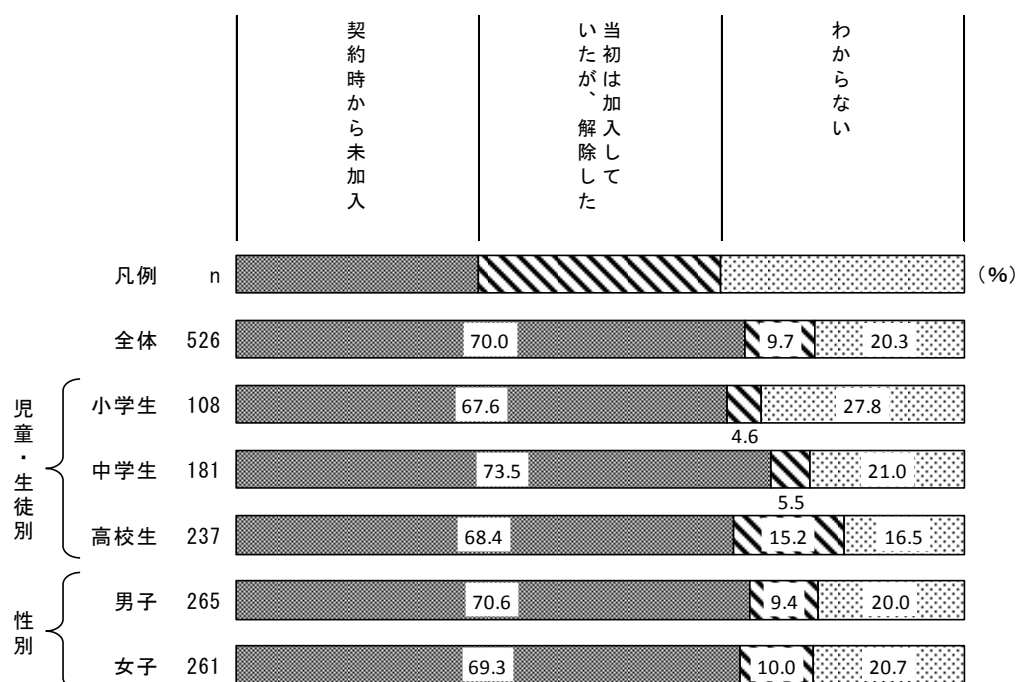
フィルタリングサービスに加入していない主な理由は何ですか。(いくつでも)



《フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期》

- フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期については、「契約時から未加入」が70.0%と最も多くなっている。

フィルタリングに加入していない（又は解除した）のは、いつからですか。(1つに回答)

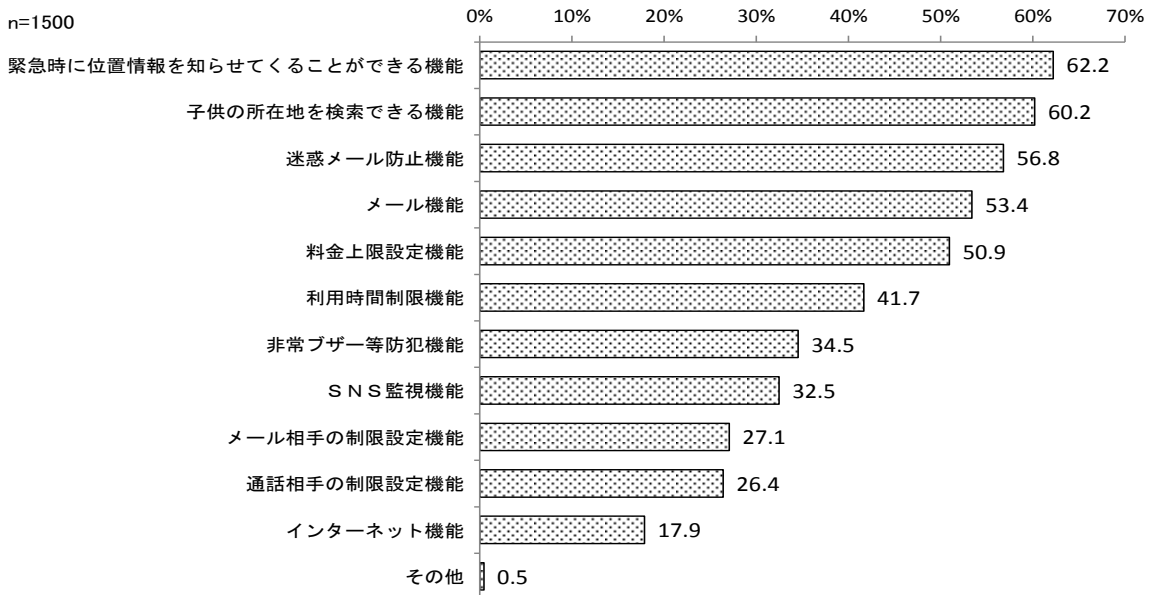


6 保護者の携帯電話・スマートフォン等に関する意識について

《安心できる機能》

- 「緊急時に位置情報を知らせてくれることができる機能」が62.2%と最も多い。

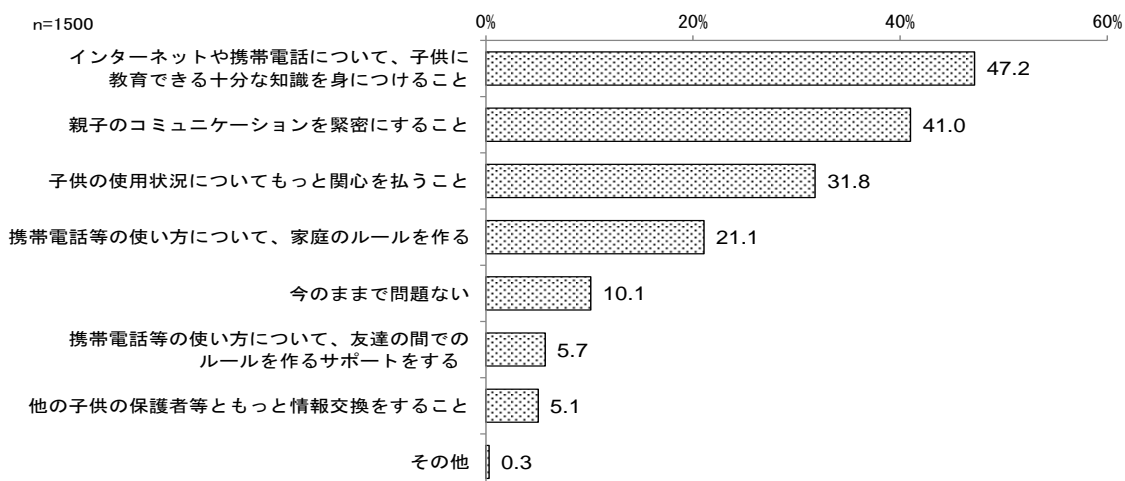
お子さんが適切に携帯電話・スマートフォンを利用するために、どのような機能があると安心できますか。(いくつでも)



《保護者として必要な課題》

- 「インターネットや携帯電話について、子供に教育できる十分な知識を身につけること」が47.2%と最も多くなっており、次いで「親子のコミュニケーションを緊密にすること」が41.0%となっている。

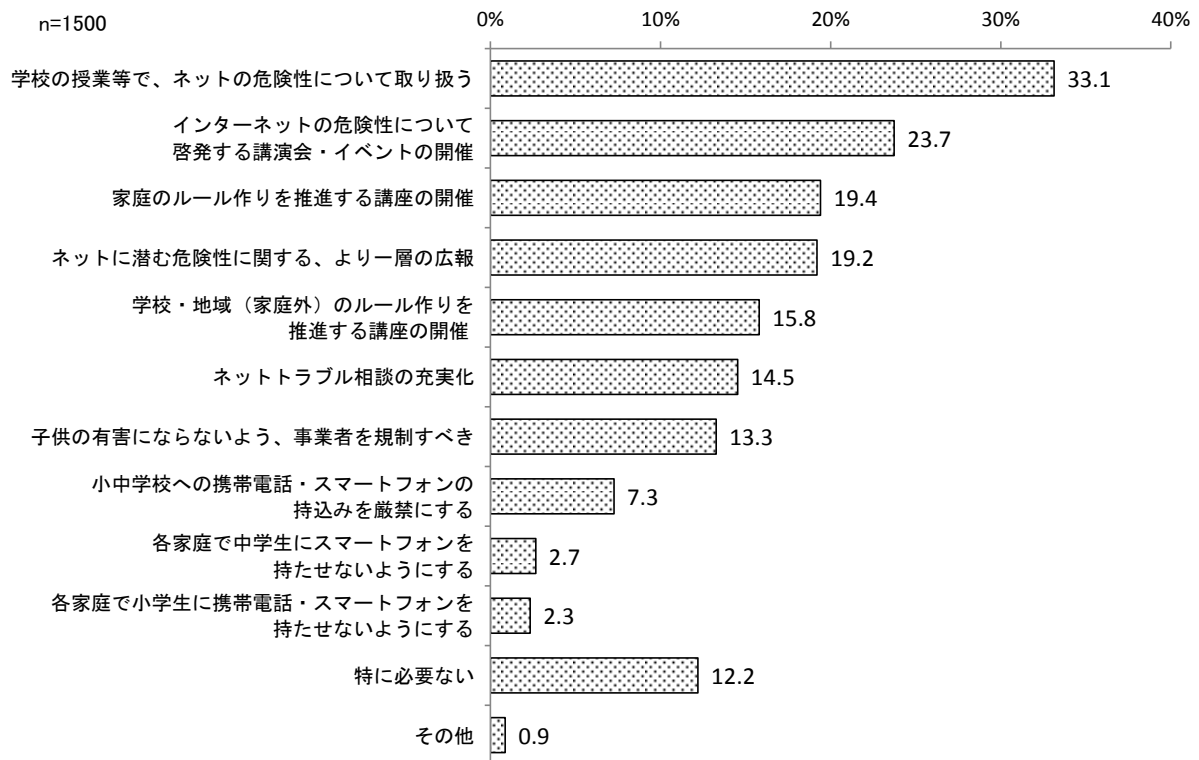
携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要な課題は何だと思えますか。(いくつでも)



《東京都や学校で必要な対策》

- 「学校の授業等で、ネットの危険性について取り扱う」が33.1%と最も多く、次いで「インターネットの危険性について啓発する講演会、イベントの開催」が23.7%、「家庭のルール作りを推進する講座の開催」が19.4%と続く。

携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、東京都や学校で必要な対策は何だと思いますか。(いくつでも)

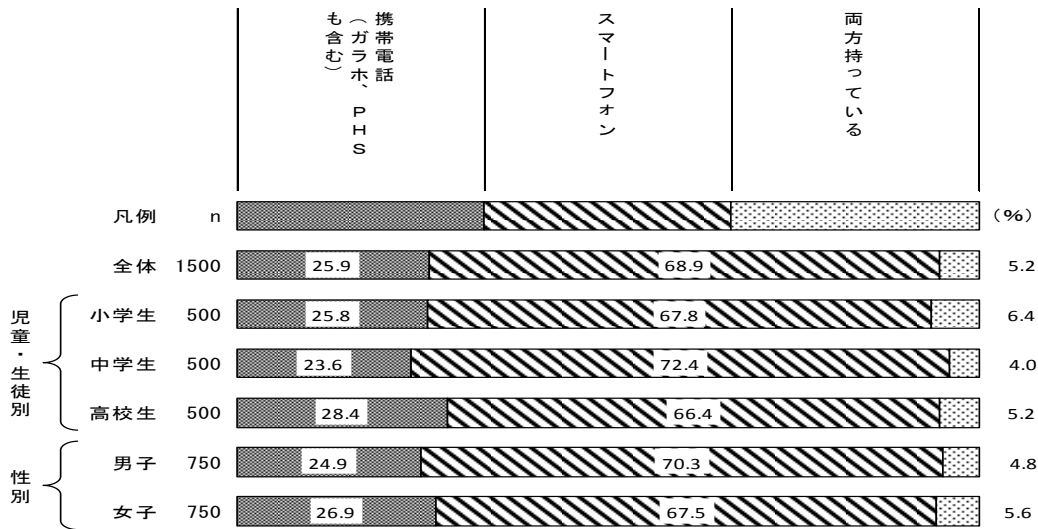


7 保護者の方の携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について

《携帯電話・スマートフォンのタイプ》

■ 全体では、「スマートフォン」が68.9%と半数以上を占める。

保護者の方が現在利用している携帯電話・スマートフォンのタイプを教えてください。
(1つに回答)



《保護者の携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間》

■ 『1時間未満』が58.9%と半数以上であった。

保護者の方は、携帯電話・スマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。
(1つに回答)

